

配布先：安全技術応用研究会 会員各位

| | | |
|------------------------|---------------|--------|
| <h1>第 312 回月例会議事録</h1> | 安全技術応用研究会 | |
| | 承認 | 確認 |
| | 企画運営委員長 増田 | 企画運営委員 |

- ◎ 日時 2019年4月19日（金）10：00～16：45
- ◎ 場所 きゅりあん 6階 大会議室
- ◎ 出席者 36名（法人会員：28名 個人会員：8名）

1. 報告事項

1) 自己紹介・トピックス紹介

① 企画運営委員挨拶

初めての参加が6名の方がいらっしゃいます。様々な機械安全について意見交換したり、研究開発する場なので活発な場にしていきたい。本日も皆さまから活発なご意見をいただき進めたく考えます。

② 自己紹介・トピックス

- ・福田会長:この月例会は技術交流の場ですので、皆さんからいろんな困り事などを揃い上げて議論していきたい。
- ・JQA 松倉氏より ISO45001 の資料配布 ……配布資料1
- ・参加者全員コメント

③ その他

- ・設計技術者、生産技術者教育に対する機械安全・機能安全に係る教育について（基安発0325第1号 H31年3月25日） …… 説明資料1-1
統合生産システムの 11.5 時間 ロボットシステム 5.5 時間
※詳細は厚労省 HP 参照
- ・（一社）日本機械学会 機械安全講習会の紹介 6月26日
中小企業センター 大会議室 10:00～17:00
※詳細は機械学会 HP 参照

2) 定例報告

① 第311回月例会・第36回企画運営委員会の概要。

- ・ 詳細は「第311回月例会議事録」参照。

② 第36回関西月例会・関西委員会活動報告概要。

- ・ 詳細は「第36回関西月例会議事録」参照。

2) 月例会アンケート結果/第310回月例会グループ討議結果

企画運営委員会

- ・ 今後もテーマで取り上げた内容をさらに深掘して、月例会のテーマアップなどに反映していく。アンケートにご協力願います。

2. 「安全確認型システムの概念」

12:45～14:20

TI安全リスクアドバイザー 石原立憲氏

安全確認型システムの基本概念及びその作り方の基本について解説した。

- ・ 確定的な安全状態および定義された限定的な安全状態とは
- ・ なぜ確定的な安全状態を示す特性でなければならないのか
- ・ 安全状態を伝え、機械の運転を許可・継続する考え方
- ・ 安全確認型推進の目的
- ・ 安全確認型システムの事例

※説明資料2-1

3. テーマ「統合生産システムに関する各社の現状と課題」

概要 ・・機械、搬送装置、産業用ロボットを組み合わせるシステムを構築する時の会員企業における
現状と課題の紹介

テーマ説明 14:20～15:30

全体討議 15:30～16:30

1) 「概要」

統合生産設備開発について事例説明

- ① 設備開発の基本方針
- ② 設備開発フロー
- ③ DRにおけるリスクアセスメント
- ④ リスクアセスメントシート
- ⑤ 課題と対応

2) Q&A

Q1: 使用者側の立場との関係はどうなっていますか？

A1: 要求仕様書が出て見積もりしてGO

Q2: RA を実施するときに使用者側は参加していますか

A2: 設計者、生産技術、使用者側、で実施するように推奨している。

意見－誤使用があまり挙げられていないように見受けられる。

Q3: 外部発注設備は統合生産システムにおいて RA していますか？

A3: RA をよく知らない、実施できないメーカーがある。

発注担当設計者が代わりに RA シート作成をする場合もある。

3) その他

次回以降の月例会で会員企業からの現状報告していただく予定。

【会員企業の困り事】

Q: 使用者側の生産技術部門の機械安全レベルが十分でないため、
使用者側の RA が適切に実施されていない。(製造側と使用者側の区別が曖昧になっている)

A: 参加者全員で討議 → 生産技術部門のレベルアップを図ること。

* 前回 第 311 回月例会議事録の訂正

第 311 回月例会議事録に訂正がありましたので、以下の通り訂正いたします。

「5. 討議テーマ」の「参加会員の報告・質疑の結果、次の内容に取りまとめた。」の以下の赤字部分を青字に訂正。

「に基づいている作業を「**非定常作業**」と呼び、都度、管理体制を作って管理する作業を」

↓

「に基づいている作業を「**定常作業**」と呼び、都度、管理体制を作って管理する作業を」

月例会説明資料

| 資料番号 | 資料名 |
|------|-------------------------------------|
| 1-1 | 設計技術者、生産技術者教育に対する機械安全・機能安全に係る教育について |
| 2-1 | 安全確認型システムの概念 |